

助成金募集のお知らせ

かながわボランティア活動推進基金21



↓↓↓ まずは募集説明会にご参加ください ↓↓↓

6/14 (水) 14時30分～

場所：神奈川県立かながわ県民センター11階コミカレ講義室2

1. 基金21事業説明会

14:30～15:00

県課題提案部署による説明

(福祉子どもみらい局生活援護課)

○基金21事業の概要及び募集にあたっての留意点等についてご説明します。

(参加は応募の 必須条件ではありません。)

2. 個別相談(希望団体)

15:10～16:30

先着順で対応させていただきます。

○説明会終了後、希望者を対象に個別相談を行いますので、基金21のどれに応募しようか迷っている方、応募書類の書き方や申請の方法が分からない方は、この機会にぜひご参加ください。

参加は、先着20団体(1団体2名まで)とさせていただきます。

申込み、問合せ

かながわ県民活動サポートセンター基金事業課

045-312-1121(内線2831～2)まで

お電話でお申込みください。

●協働事業負担金

- ・一般部門……分野を問いません。
- ・課題部門……年度ごとに県が設定します。

<今年の課題部門設定課題>

課題：生活に困りごとを抱える子ども・若者を地域の社会資源につなげる

【福祉子どもみらい局生活援護課提案】

<課題>

生活に困りごとを抱える子ども・若者を支援するため、2つの課題を解消したい。

① 学校(教育)の課題

生活に困りごとを抱える子ども・若者たちは、自らSOSの声をあげられない、または、困りごとを抱えている状態に気づいていないことから、「見えない困窮」となりがちである。

子ども・若者たちが多くの時間を過ごす学校において、困難を抱える子どもたちを早期に把握するとともに、個々の事情に寄り添い、様々な社会資源の中から、適切な地域の資源に繋げていくことが必要である。

また、県立高校の生徒は、県内の様々な地域から通っており、つなげる支援先が多様であるため、地域の資源につなげる取組を一層工夫する必要がある。

② 地域(福祉)の課題

経済的な困窮、人間関係、地域での居場所など、様々な事情により生活に困りごとを抱える子ども・若者たちが一定数存在する。家庭や地域における子ども・若者たちの「声(様子)」を拾い上げ、生活に困りごとを抱える子どもたちの課題や困難を把握するとともに、地域で受け止め、支援するネットワークづくりが課題である。

これら2つの課題解消に向けて、教育(本事業では、県立高校)と福祉(地域)の架け橋となり、子ども・若者たちの支援につなげるための事業提案を募集したい。

<想定する事業・取組の例>

地域の社会資源と連携して、県立高校と連携して、生活に困りごとを抱える子ども・若者(及び家族)にアウトリーチし、当事者との関係性を構築した上で、生活困窮者支援に取り組むNPOや社会福祉法人など地域の社会資源につなぐことをコーディネートする。

また、県立高校との連携に加え、小中学校やフリースクール、子ども食堂などで、既に何等かの支援を受けている子ども・若者たちを、さらなる支援につなぐことを含めることも可能。

なお、初期段階での学校現場との関係性構築や、支援対象者の個人情報取扱いを含めた仕組みづくりについては、県が主導して取り組む。

詳細は、基金21ホームページの募集案内をご覧ください。→



応募受付期間

【令和6年度実施分】

●協働事業負担金

令和5年6月15日(木)～7月20日(木)

●ボランティア活動補助金

令和5年9月13日(水)～10月18日(水)

●ボランティア団体成長支援事業

令和5年7月25日(火)～9月11日(月)

【令和5年度分】

●ボランティア活動奨励賞

令和5年7月25日(火)～9月11日(月)

説明会場
横浜駅西口徒歩5分



※公共交通機関でいらしてください

基金21

検索

